

令和7年度

石川県農林総合研究センター農業試験場
研究年報

令和8年4月

石川県農林総合研究センター農業試験場

目 次

I 研究課題一覧

能登農業復興研究室	1
作物研究部	2
園芸研究部	4
生産環境研究部	6

II 一般に関する概要

1 予 算	8
2 施 設	8
3 主要施設・備品の整備状況	8
4 職 員	10
5 農事相談、研修生受入れ等	11

III 研究業績・広報

1 研究業績	13
2 工業所有権・品種	19
3 広 報	22

I 研究課題一覧

【能登農業復興研究室】

試験研究課題	研究期間	予算
1 能登大納言小豆における安定多収栽培管理技術の開発と体系化 1) 能登大納言小豆の落莢、肥大不足の要因解明 2) 有効な生育指標の解析	R5～7	受託
2 作物栽培基礎調査（能登大納言小豆）	H24～	県単

【作物研究部】

試験研究課題	研究期間	予算
1 水稻新品種育成研究 1) 系統養成・選抜 (1) 系統養成・選抜 (2) 出穂期を早期化した「石川 43 号」準同質遺伝子系統の育成 2) 系統生産力検定試験（本検・予検） 3) 高温登熟性に優れた品種の育成 (1) 検定法の検討 (2) 系統育成 4) ブランド品種「石川 65 号」及び「石川酒 68 号」の改良 (1) 「石川 65 号」の改良 (2) 「石川酒 68 号」の改良 5) 水稻新系統「石川 78 号」	S27～	県単
2 作物栽培基礎調査 1) 水稻 2) 大麦 3) 大豆	S38～	県単
3 水稻奨励品種決定調査 1) 場内 2) 現地調査	S29～	県単
4 麦類奨励品種決定調査事業 1) 大麦 2) 小麦	S53～	県単
5 大豆奨励品種決定調査	S53～	県単
6 主要農作物採種対策事業	S29～	県単
7 国内産麦の研究開発支援事業 1) 北陸地域に適した小麦品種の育成	R4～8	受託

試験研究課題	研究期間	予算
8 ひゃくまん穀の品種特性を活かした生産拡大のための技術確立 1) 上乗せ追肥による高温障害の抑制効果の検討 2) 晩植栽培技術の確立による作期拡大の検討	R7	県単
9 水稻初冬直播栽培の実証 1) 本県における適正品種、播種時期の検討 2) 栽培試験	R6～10	受託
10 バイオスティミュラント資材を用いた節水型乾田直播栽培の検討 1) 品種、通水時期、バイオスティミュラント資材の検討（場内試験） 2) 品種、通水時期、バイオスティミュラント資材の検討（現地試験）	R7	県単
11 小麦の高品質安定生産技術の確立 1) 生育指標および施肥体系の検討 2) 後期重点施肥体系の検討	R5～7	県単
12 中山間地域におけるスマート農業技術を活用した超省力・低コスト生産体系の確立 1) GPS レベラー、GPS オートハロー等を活用したほ場大区画化技術の検証 2) 無人トラクターを活用した高効率播種作業体系の検証 3) 無人田植機を活用した高効率移植作業体系の検証 4) スマート農機を活用した法面管理技術の検証 5) 衛星センシング・ドローン等を活用した高精度可変施肥技術の検証 6) ドローンを活用した高効率防除技術の検証 7) 無人コンバインを活用した高効率収穫作業体系および収穫・運搬・乾燥作業の見える化技術の検証	R7～8	国受託

【園芸研究部】

試験研究課題名	研究期間	予算
【野菜・花き（本場）】 1 いしかわ園芸オリジナル品種育成グレードアップ研究 1) 本県オリジナル品種の育成 (1) フリージア新品種の育成 2 水稻経営体の複合化に向けた花き栽培技術の確立 1) エアリーフローラの八重品種の品質向上技術の確立 2) 切り花ハボタンの着色不良対策技術の確立 3) 本県に適したリンドウ栽培技術の確立 3 ドローンを活用したブロッコリーの収穫期予測技術の確立 1) 生育モデルの開発 3) 収穫予測の実証 4 冷凍ブロッコリー国産シェア獲得に向けた生産技術と冷凍加工技術の高度化 1) 冷凍加工に対応した生産技術の高度化と DB 構築 【野菜・花き（砂丘地）】 5 砂丘地基幹野菜の優良品種の選定・新規導入品目の研究 1) スイカの作型別優良品種の選定 2) 秋冬ダイコンの優良品種の選定 6 民間種苗会社と連携した大玉スイカ新品種の育成 1) 本県の栽培環境に適した中型トンネル作型の品種育成 【果樹（本場）】 1 いしかわ園芸オリジナル品種育成グレードアップ研究 1) 本県オリジナル品種の育成 (2) ニホンナシの新品種育成 (3) リンゴの新品種育成 7 果樹の高品質安定生産技術の確立 1) 優良品種の選定	R3～7 R7～9 R5～7 R6～10 H7～ R5～7 R3～7 S55～	県単 交付金 県単 受託 県単 県単 県単 県単

試験研究課題名	研究期間	予算
(1) 系統適応性検定試験 (2) リンゴ品種比較試験 8 春先の気象災害を低減するナシの低コスト生産技術の確立 1) アラレから花（果実）を守る栽培技術 2) 霜対策技術の検討 3) 低温条件下でも結実しやすい花粉用品種の選定 【果樹（砂丘地）】 9 ルビーロマン高品質生産技術確立研究 1) ブドウ‘ルビーロマン’の安定供給に向けた商品性向上技術の確立 (1) 商品性向上のための技術対策 (2) 栽培技術の平準化対策 10 砂丘果樹の高品質安定生産技術の確立 1) 優良品種選定試験 (1) ブドウの品種・系統の選定 (2) カキの品種・系統の選定 (3) ブドウのオリジナル品種の育成 2) 高品質安定生産技術確立試験 (1) ブドウ侵入害虫シタバニハゴロモの殺虫剤感受性の検討	 R4～8 H18～ S44～	 県単 交付金 県単 受託

【生産環境研究部】

試験研究課題	研究期間	予算
1 水稻におけるドローンを活用した省力・減農薬防除体系の確立 1) フレーム防除の防除効果の検証 (1) 紋枯病に対する防除効果 (2) イネミズゾウムシに対する防除効果 (3) 斑点米カメムシ類に対する防除効果	R5～7	国補
2 園芸品目における環境にやさしい病虫害防除技術の確立 1) 生物農薬と選択性殺虫剤を活用した病虫害防除体系の検討 (1) ネギ軟腐病に対する効果的な防除体系 2) 緑肥や天敵を活用した防除技術の開発 (1) 緑肥との輪作による発病抑制効果 (2) ネギハモグリバエの越冬世代発生存長と土着寄生蜂相調査 (3) 緑肥との輪作によるネギハモグリバエの越冬密度抑制効果 (5) 緑肥の間作による天敵温存とブロッコリー害虫の密度抑制効果	R6～8	国補
3 トキの餌の確保と省力化を両立する除草方法の検討 1) 現地試験（宝達志水町） 2) 現地試験（穴水町） 3) 場内試験（能登）	R6～9	県単
4 激化する気象変動に対応する農林水産業 1) 圃場の実測値と気象のデータとの比較および葉面濡れ時間と湿度の比較	R4～R11	受託
5 農業生産に不可欠な生態系サービスの効率的な評価技術の開発 1) 早熟かぼちゃにおける訪花昆虫相と受粉様式の違いによる着果率及び果実品質 2) 抑制かぼちゃにおける訪花昆虫相と受粉様式の違いによる着果率及び果実品質	R5～R9	受託
6 環境保全型農業における水稻安定生産技術の確立 2) センシングによる有機質肥料の穂肥時期の検討 3) 基肥一発肥料に有機質肥料を上乗せ施用する施肥体系の確立 4) 化学肥料と有機質肥料を組み合わせた新しい施肥体系の確立	R6～8	県単

試験研究課題	研究期間	予算
7 県産酒米の醸造適性の予測法の開発 1) 酒米「消化性」の簡易分析手法の開発 2) 栽培管理支援システムを活用した消化性予測法の検証	R6～7	県単
8 土壌機能モニタリング調査 1) 全国農地土壌炭素調査 2) 地力調査 3) モニタリング調査 4) 環境保全型有機質資源施用基準設定調査	H5～	受託 県単
9 J-クレジット新規方法論等策定に関する調査	R5～	受託
10 北陸地域における大豆多収栽培支援 AI を活用した栽培体系の実証	R7～R9	受託
11 省力化と環境負荷低減の両立を目指した適正施肥技術の確立 1) 園芸作における省力施肥の普及技術の確立 (1) 被覆肥料を含まない緩効性肥料を施用した減化学全量基肥栽培体系の確立	R6～7	受託
12 新しい肥料・資材・施肥法による栽培技術の確立 1) 普通作における新しい肥料・資材・施肥法による栽培技術の確立 (1) 堆肥入り複合肥料と葉面散布資材を組み合わせた水稻の適正施肥技術の確立	R7～8	受託
13 土壌くん蒸剤使用量減少効果等の調査事業	R7	受託
14 環境負荷型の化学農薬施用技術の開発	R7～9	受託
15 侵略的外来種アレチウリ根絶技術の開発	R7～8	受託
16 バイオスティミュラント資材を用いた節水型乾田直播栽培技術の検討	R7	-

Ⅱ 一般に関する概要

1 予 算

(2月補正後)

区 分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比較増減 (A－B)
	千円	千円	千円
【歳入】	1,360,107	1,286,341	73,766
国庫支出金	20,062	18,078	1,984
使用料及び手数料	6,781	3,481	3,300
財産売払収入	84,706	96,709	△12,003
諸収入	133,203	114,165	19,038
県債	26,000	0	26,000
一般財源	1,089,355	1,033,529	55,826
【歳出】	1,360,107	1,286,341	73,766

(※一般財源の中には、畜産試験場、林業試験場にかかる職員費を含む)

2 施 設

(1) 土 地

R7.3.31 現在

区 分	面積	うち 耕作面積	備 考
	ha	ha	
本場	43.2	17.7	
河北潟農業研修館	18.3	6.1	
砂丘地農業研究センター	8.9	4.5	
能登農業復興研究室	4.5	2.2	
旧大崎ほ場	6.8	0.0	

(2) 建 物

R7.3.31 現在

区 分	棟数	面積	備 考
	棟	m ²	
本場	41	14,369.69	
河北潟農業研修館	1	410.70	
河北潟試験地	10	962.99	
砂丘地農業研究センター	25	2,940.05	
能登農業復興研究室	6	683.00	

3 主要施設・備品の整備状況

(1) 主な建物

名 称	規模(延面積)	備 考
本館	5,687.74 m ²	鉄筋コンクリート、3階(一部5階)
会議棟	537.25 m ²	木造、平 屋(廊下部分含む。)

名 称	規模（延面積）	備 考
調査棟等		
作物調査棟	611.52 m ²	鉄 骨・鉄筋コンクリート、平 屋
園芸調査棟	604.80 m ²	木造、平 屋
作物収納作業棟	450.58 m ²	鉄 骨・鉄筋コンクリート、平 屋
原種生産貯蔵施設	510.72 m ²	〃 〃 〃
車庫・資材庫	863.52 m ²	鉄 骨、平 屋
農業機械格納庫	669.44 m ²	〃 〃
温室		
野菜育苗温室	244.20 m ²	鉄 骨、ガラス
馴化幼苗温室	244.20 m ²	〃 〃
稲世代促進温室	244.20 m ²	〃 〃
稲出芽育苗温室	244.20 m ²	〃 〃
稲いもち検定棟	236.25 m ²	〃 〃
花き温室	236.25 m ²	〃 〃
野菜栽培温室	236.25 m ²	〃 〃
病虫害温室	236.25 m ²	〃 〃
花き環境制御温室	150.00 m ²	軽量鉄骨 〃
環境制御温室	135.00 m ²	〃 〃
環境制御ハウス（花き温室）	135.00 m ²	〃 〃
環境複合温室	120.00 m ²	〃 〃
環境複合温室Ⅱ	120.00 m ²	〃 〃
養液栽培温室	120.00 m ²	〃 〃
ふれあいセンター	503.86 m ²	鉄 骨、平 屋（一部2階）
ふれあいのいえ	243.95 m ²	木 造、平 屋
ふれあい温室	235.70 m ²	鉄 骨、平 屋

（２）令和７年度における主要施設・備品の整備状況

① 備品整備（１００万円以上）

乗用管理機	作物研究部
プレハブ冷蔵庫	能登農業復興研究室
軽自動車トラック	作物研究部
ウッドチップパー	能登農業復興研究室
ウッドチップパー	砂丘地農業研究センター
バックホウ	総務課
バックホウ	砂丘地農業研究センター
微量高速冷却遠心機	作物研究部
紫外可視分光光度計	生産環境研究部
バイオマルチインキュベーター	生産環境研究部
フォークリフト	総務課
恒温室パネル	園芸研究部
運搬車	園芸研究部

② 施設整備・修繕

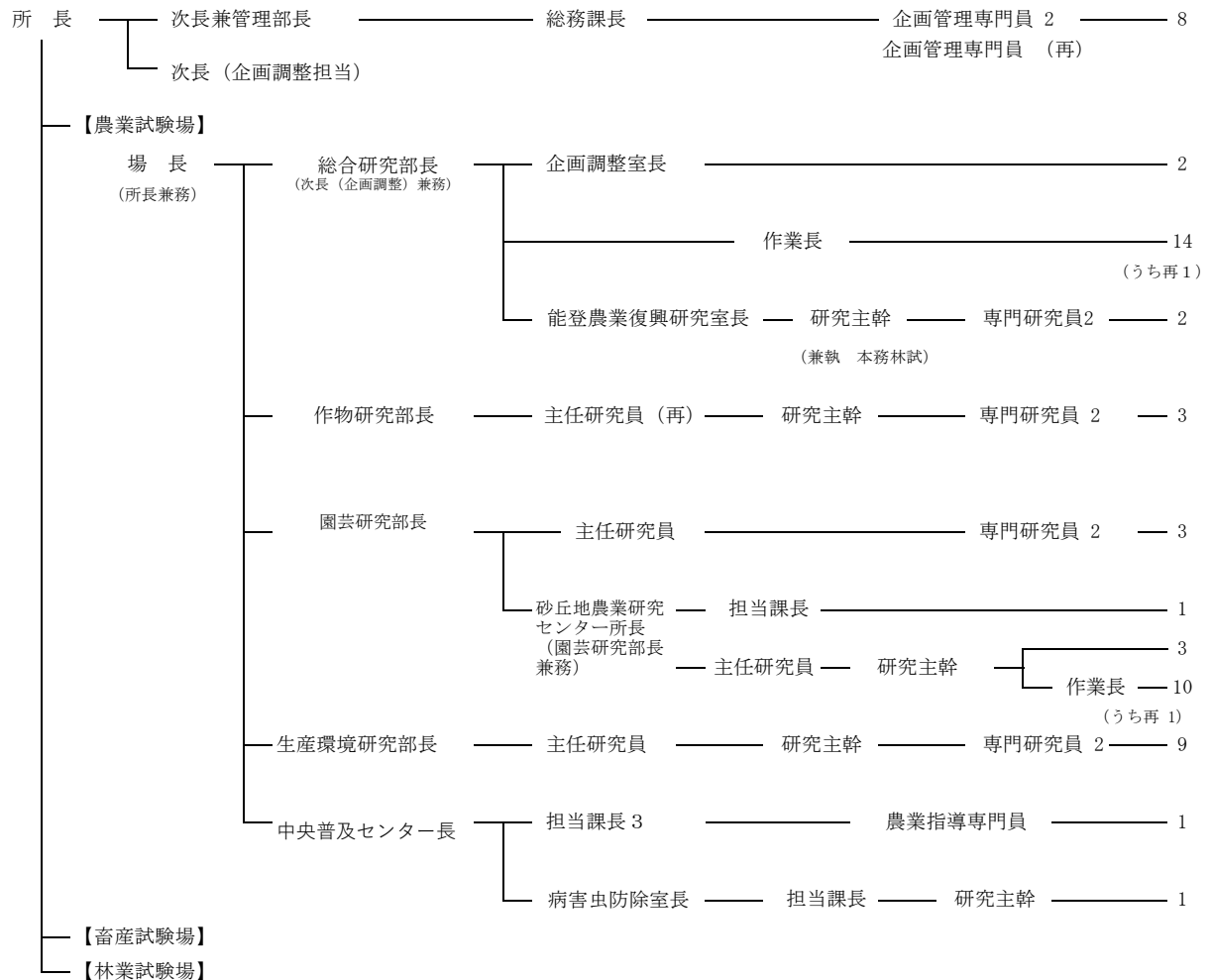
（工事請負費 契約金額５００万円以上）

・河北潟研修館 受変電設備更新工事	河北潟研修館
-------------------	--------

4 職 員

(1) 配置状況 (令和8年3月31日現在)

農業総合研究センター



(2) 職員数

単位：人

職 名	令和7年度	令和6年度	増 △ 減
所 長	1	1	—
次 長	2	2	—
副 場 長			—
部長・センター長	4	4	—
課長・室長	4	3	1
主任研究員	4	4	—
担当課長	5	4	1
主幹・研究主幹	4	8	△ 4
専門研究員	8	6	2
専門員 (企画管理・農業指導)	4	4	—
作 業 長	2	2	—
主任主事	2	1	1
主任技師	4	4	—
業務主任	3	5	△ 2
主 事	1	1	—
技 師	12	15	△ 3
技師 (技能員)	8	6	2
会計年度任用職員 (常勤の非常勤)	24	23	1
計	92	93	△ 1

(3) 技術研修 なし

5 農事相談、研修生受け入れ等

(1) 参観者等の来場者数

月	農家	学校	農業 団体	県	市町 村	他県	国	一般	各 種 メーカー	その 他	合 計	件数	電話 相談等	メール FAX
4	1	58	77	55	31	0	3	127	28	16	396	78	38	144
5	140	0	128	66	55	9	7	113	62	5	585	115	36	82
6	72	56	82	61	11	10	27	176	72	25	592	103	29	38
7	51	0	112	81	2	0	2	157	26	20	451	111	19	23
8	72	14	19	26	62	0	3	108	25	30	359	87	20	31
9	6	77	77	52	99	13	15	172	47	17	575	126	30	53
10	116	12	177	122	70	9	2	247	29	8	792	103	38	78
11	36	2	90	61	10	5	13	133	24	38	412	94	29	91
12	141	0	66	36	26	2	0	56	32	44	403	68	19	55
1	30	0	67	50	0	0	0	14	37	19	217	53	44	64
2	45	2	77	23	25	2	5	12	49	19	259	43	19	26
3	8	0	64	39	130	1	0	61	29	22	354	76	30	62
合計	718	221	1,036	672	521	51	77	1,376	460	263	5,395	1,057	351	747

(2) 主な農事相談の内容

《作物》

水稻の食害について、イネ再生2期作について、流れ苗の対応について、高温での水管理について、乾粳のうち玄米の割合について、茶米と斑点米の原因について、米粒の褐条病について、大豆のレーザー除草について、倒伏した小豆について 等

《園芸》

野菜の栽培方法・病虫害・生理障害対策について 等

〔 サトイモの生理障害について、ブロッコリーの追肥量について、ミモザの栽培について 〕

果樹の栽培方法、せん定、病虫害・生理障害対策について 等

〔 ナシの凍害・病虫害対策、ブドウの栽培管理・生理障害、品種・施設について、リンゴの生理障害・害虫防除、クリの病虫害対策、モモの病虫害対策、摘粒の方法について、ブドウの病気診断、新品種サニーハートの栽培について、みかんのすす症状対策について、柿の接ぎ木について 〕

《病害虫》

農作物病害虫診断

〔 カキツバタの立枯れ症状、サクラのハダニ害、ヤマノイモのハダニ害、ナスの青枯れ
症状 等 〕

《土壌・食機能》

農作物生理障害診断、土壌診断、農産物加工に係る相談 等

《その他》

県内の集落営農について 等

Ⅲ 研究業績・広報

1 研究業績

(1) 発表論文

著者名	表 題	掲載文献名	巻 号	刊行 年月	掲載頁	刊行主体
藪哲男 植松繁	能登半島地震・奥能登豪雨 における農業被害と課題 －能登の創造的復興に向 けて－	農業食料工学会誌	87 (3)	2025. 8	172- 180	農業食料工学会
植松繁	石川県における散布用ド ローンの導入採算規模の 検討	北陸病害虫研究会報	74	2026. 1	1-4	北陸病害虫研究会

(2) 学会発表等

著者名	表 題	掲載文献名	巻 号	刊行 年月	掲載頁	刊行主体
宮崎靖弘 植松繁 安達直人 松崎兼秀 有手友嗣	石川県奥能登地域におけ るグレンドリルを用いた 乾田直播栽培の適応性検 証	第83 回農業食料工 学会年次大会 講演要旨集	－	2025. 9	200	農業食料工学会
植松繁 松谷瑛 松崎兼秀 有手友嗣 宮崎靖弘 安達直人 松田賢一 藪哲男	ロボット農機を活用した 「スマート播種・移植」作 業体系の構築	第83 回農業食料工 学会年次大会 講演要旨集	－	2025. 9	201	農業食料工学会
植松繁	能登農業復興スマート農 業技術研究コンソーシア ムの取り組み計画 ～能登 の創造的復興に向けた中 山間農業における新たな 水田営農モデルの構築～	スマート農業技術勉 強会『北陸地域の水 田作における各種ス mart農機を導入し た実証事業の振り返 りと今後の方向』	－	2025. 11	－	農研機構中日本農 業研究センター
原田倫太郎 中村啓二	水稻高温登熟性検定にお ける北面黒色オープント ップチャンバーの評価	北陸作物・育種研究	第61 号 別号	2025. 11	1	北陸作物・育種 談話会
坂下結香 植松繁 有手友嗣 山上友誠 松崎兼秀	石川県におけるイネの再 生二期作栽培の検討	北陸作物・育種研究	第61 号 別号	2025. 11	7	北陸作物・育種 談話会

著 者 名	表 題	掲 載 文 献 名	巻 号	刊行 年月	掲載頁	刊行主体
植松繁 有手友嗣 安達直人 宮崎靖弘 坂下結香 山上友誠 松崎兼秀	中山間地域におけるロボ ットコンバインの作業性 評価	北陸作物・育種研究	第 61 号 別号	2025. 11	9	北陸作物・育種 談話会
山上友誠 松崎兼秀 有手友嗣 植松繁 坂下結香	小麦の後期重点施肥の検 討	北陸作物・育種研究	第 61 号 別号	2025. 11	1	北陸作物・育種 談話会
小川瑛里奈 三門奈里子 水内友美子 宮下博行	令和 6 年奥能登豪雨によ り土砂が流入した農地に おける土壌理化学性の調 査	日本土壤肥料学会中 部土壤肥料研究会第 115 回例会講演要旨 集	中部土 壤肥料 研究第 114 号	2025. 11	54-55	日本土壤肥料学会 中部支部 中部土 壤肥料研究会
須田甚将 寺賀萌音 中川榛野 田村茂之 杉浦俊彦	温暖化に伴う夏季高温に よるブドウの着色不良の 発生予測	令和 7 年度園芸学会 北陸支部大会研究発 表要旨	—	2025. 12	3	園芸学会北陸支部
東中菜都 寺賀萌音 須田甚将	石川県のブドウ園におけ るシタベニハゴロモの殺 虫剤感受性の評価	令和 7 年度園芸学会 北陸支部大会研究発 表要旨	—	2025. 12	4	園芸学会北陸支部
永谷留衣 山内大輔 宮下博行 小川瑛里奈 井上博道	植穴への土壌改良資材の 投入が土壌の気相率とモ モの凍害発生に及ぼす影 響	令和 7 年度園芸学会 北陸支部大会研究発 表要旨	—	2025. 12	15	園芸学会北陸支部
高田飛鳥 西澤歩南 松田絵里子	イネ紋枯病に対するドロ ーンを活用した額縁防除 の効果	第 78 回北陸病害虫 研究会講演要旨集		2026. 2	5	北陸病害虫研究会
尾山智洋 谷本悠輔 松田絵里子	ネギハモグリバエの越冬 世代発生消長と土着寄生 蜂相	第 78 回北陸病害虫 研究会講演要旨集		2026. 2	13	北陸病害虫研究会
西澤歩南 松田絵里子 尾山智洋 高田飛鳥 谷本悠輔	石川県の砂土圃場におけ るガスバリアー性フィル ムを用いた土壌くん蒸剤 使用量削減効果	第 78 回北陸病害虫 研究会講演要旨集		2026. 2	9	北陸病害虫研究会
谷本悠輔 尾山智洋 松田絵里子	高刈りによる畦畔植生と 生物相への影響	第 78 回北陸病害虫 研究会講演要旨集		2026. 2	8	北陸病害虫研究会
谷本悠輔 塩谷捺美 尾山智洋 松田絵里子 藪哲男	斑点米カメムシ類に対す る額縁防除の防除効果検 証	第 70 回日本応用動 物昆虫学会大会講演 要旨集		2026. 3	未定	日本応用動物昆虫 学会

著 者 名	表 題	掲 載 文 献 名	巻 号	刊行 年月	掲載頁	刊行主体
山上友誠	粒状二段施肥とブロード キャスト追肥による分施 体系の検証	石川県土壌肥料懇話 会 2025 年度研究会	-	2026. 3	-	石川県土壌肥料懇 話会
須田甚将 寺賀萌音 中川榛野 田村茂之 杉浦俊彦	温暖化に伴う夏季高温に よるブドウの着色不良の 発生予測	園芸学研究	第 25 号 別冊 1	2026. 3	444	園芸学会
東中菜都 寺賀萌音 須田甚将	石川県のブドウ園におけ るシタバニハゴロモの殺 虫剤感受性の評価	園芸学研究	第 25 号 別冊 1	2026. 3	445	園芸学会
早川侑花 増田大祐	ブロッコリー収穫作業の 機械化による省力化の実 証	園芸学研究	第 25 号 別冊 1	2026. 3	457	園芸学会
宮下奈緒 西野舞	フリージアにおける簡易 なエチレン処理による休 眠打破方法の検討	園芸学研究	第 25 号 別冊 1	2026. 3	465	園芸学会
清水良雅 北口博之 増田大祐 諸角大地 島崎知花	民間種苗会社と連携した 大玉スイカ品種育成のた めの系統選抜	園芸学研究	第 25 号 別冊 1	2026. 3	459	園芸学会

(3) 独立行政法人等の成果情報、協会誌・公刊雑誌・図書への投稿・寄稿、著作

執 筆 者	表 題	発 表 誌 名	巻 号	刊行 年月	掲載 頁	刊行主体
植松繁	無人トラクターを活用した大麦 スマート播種体系の構築	日本農業新聞		2025. 10. 11		日本農業新聞
植松繁	スマート農業技術を駆使した大 麦の生産拡大と低コスト化を目 指した水田収益向上モデルの実 証	JATFF ジャー ナル	13 (10)	2025. 10	13- 18	公益社団法人 農林水産・食 品産業技術振 興協会
山上友誠	水稻育苗のポイント	日本農業新聞	第 22428 号	2026. 2. 6		日本農業新聞
山上友誠	石川県農林総合研究センターの 水稻除草剤試験について	日植調北陸支 部だより	第 31 号	2026. 2		日本植物調節 剤研究協会
磯辺美里	高電圧パルス処理による新たな 農産物加工技術の開発（ころ柿 製造への効果）	農業電化	2025 別冊特 集号	2025. 11	9	一般社団法人 農業電化協会
中村弘和	石川県農林総合研究センター農 業試験場の試験研究の取組につ いて	食品の試験と 研究	60 号	2026. 2	43	全国食品関係 試験研究場所 長会

(4) 情報誌等への寄稿

執筆者	表 題	発 表 誌 名	巻 号	刊行年月	刊行主体
三門奈里子	奥能登豪雨による流入土砂対策	日本農業新聞		2025. 5	日本農業新聞社
三門奈里子	奥能登豪雨により土砂流入した水田の施肥管理	晴れたらいいね	第 126 号	2025. 7	石川県農林水産部
尾山智洋 大野史佳	太陽熱土壌消毒によるフリージアの病害虫防除技術	グリーンレポート	No. 674	2025. 8	JA 全農耕種資材部
須田甚将	ぶどうにおける着色不良の発生予測	日本農業新聞		2025. 8	日本農業新聞社
永谷留衣	リンゴ「ふじ」における日焼け果発生予測技術の開発	日本農業新聞		2025. 9	日本農業新聞社
尾山智洋	フリージアの球根消毒	日本農業新聞		2026. 2	日本農業新聞社
植松繁	大麦栽培における人工衛星リモートセンシングシステムを活用した可変追肥技術	グリーンレポート	681	2026. 3	JA 全農

(5) 研究成果発表会等

日 時	場 所	氏 名	課 題 名
R7. 4. 11	かほく市二ツ屋大田ぶどう園	須田甚将 東中菜都	小粒系ぶどうの栽培管理について ブドウの病害虫対策（シタバニハゴロモ等）について
R7. 5. 8	農林総合研究センター 農業試験場	中村史也 永谷留衣	加賀しずくの摘果について
R7. 5. 8	農林総合研究センター 農業試験場 砂丘地農業研究センター	須田甚将 東中菜都	ルビーロマンの栽培管理（花穂整形・ジベレリン処理）について
R7. 5. 12	奥谷梨生産組合共同選果場	中村史也 永谷留衣	加賀しずくの摘果について
R7. 5. 22	農林総合研究センター 農業試験場 砂丘地農業研究センター	須田甚将 東中菜都	ルビーロマンの栽培管理（摘粒・着果管理）について
R7. 7. 2	農林総合研究センター 農業試験場	中村史也 永谷留衣	リンゴの日焼け対策技術について
R7. 9. 2	北海道立道民活動センター かでの 2・7	向井吉崇	能登大納言小豆生産における安定多収栽培技術の開発と体系化（令和 4～6 年度成果）
R7. 10. 28	農林総合研究センター 農業試験場 砂丘地農業研究センター	須田甚将 小川瑛里奈 東中菜都	ルビーロマンの栽培管理（若木の育成方法、土づくり）について
R7. 10. 31	農林総合研究センター 農業試験場	有手友嗣	水稻初冬直播きの生産者向け講習会

日 時	場 所	氏 名	課 題 名
R7. 11. 25	崎浦選果場	中村史也	加賀しずくの栽培法について 高温対策技術について
R7. 12. 3	農林総合研究センター 農業試験場	永谷留衣	加賀しずくの栽培法について ナシのハダニの対策について
R7. 12. 6	福井県福井市 AOSSA	須田甚将	近年の気候変動に対応した果樹の栽培管理技術の開発について
R7. 12. 8	農林総合研究センター 農業試験場	永谷留衣	リンゴの着色優良系統の特性について
R7. 12. 24	農林総合研究センター 農業試験場	須田甚将 東中菜都	ルビーロマンの着色対策について ブドウの病害虫対策（シタベニハゴロモ等）について
R8. 3. 3	JA 松任松南倉庫	永谷留衣	カメムシ・カイガラムシの対策について 水田転換園におけるナシの凍害の発生と対策技術について
R8. 3. 5	石川県立図書館	山田幸信	プラスチックを含まない緩効性肥料によるブロッコリー施肥 体系の確立

（６）移動試験場

開催日	場 所	開 催 テ ー マ	講 師 等	参加人数
R7. 7. 9	JA のと本店	トキの餌の確保と省力化を両立する除草方法の検討	宮崎靖弘	約 50 名
R7. 5. 12	奥谷梨生産組合 共同選果場	加賀しずくの摘果について	中村史也 永谷留衣	50 名
R7. 7. 14	中島地区コミュニ ティセンター	トキの生育環境整備に向けた栽培管理現地研修会	尾山智洋	約 60 名
R7. 10. 28	砂丘地農業研究 センター	ルビーロマン秋季栽培講習会	小川瑛里奈	約 30 名
R7. 11. 25	崎浦選果場	加賀しずくの栽培管理について ナシの高温対策技術について	中村史也	20 名
R8. 3. 3	JA 松任 松南倉庫	ナシの害虫対策（カメムシ・カイガラムシ）について 水田転換園におけるナシの凍害の発生と対策技術について	永谷留衣	20 名
R8. 3. 11	羽咋合同庁舎	水稻の超省力的・低コスト生産体系の導入による労働生産 性向上の取組	宮崎靖弘	約 30 名
R8. 3. 13	JA のと本店	水稻・園芸における先端技術について	宮崎靖弘	約 60 名

(7) 普及に移した研究成果

実用化技術

No.	研 究 成 果 名	関 係 研 究 課 題 名
1	奥能登地域における水稲乾田直播の播種量	中山間地域におけるスマート農業技術を活用した超省力・低コスト生産体系の確立
2	石川県における水稲初冬直播栽培の播種適期	水稲初冬直播栽培の実証
3	パン用小麦の品質向上のための施肥体系の確立	小麦の高品質安定生産技術の確立
4	高温でも着色の良い切り花ハボタン品種「冬うらら」	水稲経営体の複合化に向けた花き栽培技術の確立
5	フレーム防除の斑点米カメムシ類に対する防除効果	水稲におけるドローンを活用した省力・減農薬防除体系の確立
6	プラスチックを含まない緩効性肥料によるブロッコリー施肥体系の確立	省力化と環境負荷低減の両立を目指した適正施肥技術の確立

参考研究成果

No.	研 究 成 果 名	関 係 研 究 課 題 名
1	ドローンを活用した能登大納言小豆ほ場の収穫順序の予測	能登大納言小豆における安定多収栽培管理技術の開発と体系化
2	中山間地域における無人コンバインの作業性検証	中山間地域におけるスマート農業技術を活用した超省力・低コスト生産体系の確立
3	パン用小麦の後期重点施肥体系	小麦の高品質安定生産技術の確立
4	加工業務用ブロッコリーの一斉収穫機の実用性検討	ブロッコリー収穫作業の機械化による省力化の実証
5	砂丘地での栽培に適した高温耐性大玉スイカ新系統の育成	民間種苗会社と連携した大玉スイカ新品種の育成

2 工業所有権・品種

(1) 工業所有権の登録及び出願

ア 特許

特 許 等 の 名 称	発 明 者	出願年月日	登録年月日及び 登録番号
苗移植機	森本 英嗣 外 3 名	平 22. 9. 8 特願 2010-200440	平 27. 7. 17 特許第 5776026 号
中高圧処理による魚肉の加工 方法	三輪 章志 中村 恵美 有手 友嗣 外 3 名	平 23. 9. 8 特願 2011-196586	平 28. 4. 1 特許第 5906368 号
施肥作業機	森本 英嗣 外 4 名	平 24. 1. 19 特願 2012-008753	平 28. 4. 1 特許第 5906370 号
電氣的処理によるアンジオテ ンシン I 変換酵素阻害活性を 高めたアブラナ科野菜及びそ の製品	三輪 章志 山田 幸信 外 1 名	平 23. 7. 19 特願 2011-158381	平 28. 7. 1 特許第 5957674 号
作業記録装置	森本 英嗣 外 4 名	平 25. 4. 30 特願 2013-094891	平 30. 3. 23 特許第 6307674 号
乳化能をもつ食品素材を製造 する方法及びその食品素材	三輪 章志 外 6 名	平 26. 8. 27 特願 2014-173167	平 31. 1. 25 特許第 6467573 号
農作業支援システム	森本 英嗣 外 3 名	平 26. 11. 28 特願 2014-242475	令 2. 3. 23 特許第 6678865 号
作業車両	森本 英嗣 外 4 名	平 27. 4. 21 特願 2019-192087	令 3. 4. 20 特許第 6871491 号
食品に対する脱気・加熱・高 圧処理方法①	三輪 章志 有手 友嗣 南出 恵美 外 4 名	平 28. 10. 24 特願 2015-213699	令 3. 1. 5 特許第 6818390 号
食品に対する脱気・加熱・高 圧処理方法②	三輪 章志 有手 友嗣 南出 恵美 外 4 名	平 28. 10. 24 特願 2015-213699 (令 1. 12. 27 分割 特願 2019-235596)	令 3. 6. 29 特許第 6905232 号
食品に対する脱気・加熱・高 圧処理方法③	三輪 章志 有手 友嗣 南出 恵美 外 4 名	平 28. 10. 24 特願 2015-213699 (令 2. 4. 24 分割 特願 2020-077390)	令 3. 12. 9 特許第 6990857 号
空気調和装置	松田 賢一 外 10 名	令 1. 5. 30 特願 2019-101141	令 5. 2. 22 特許第 7232468 号
食品に対する脱気・加熱・高 圧処理方法④	三輪 章志 有手 友嗣 南出 恵美 外 4 名	平 28. 10. 24 特願 2015-213699 (令 3. 7. 5 分割 特願 2021-111194)	令 5. 2. 27 特許第 7233644 号

特 許 等 の 名 称	発 明 者	出願年月日	登録年月日及び 登録番号
食品に対する脱気・加熱・高圧処理方法⑤	三輪 章志 有手 友嗣 南出 恵美 外 4 名	平 28. 10. 24 特願 2015-213699 (令 3. 7. 5 分割 特願 2021-111212)	令 5. 7. 28 特許第 7321441 号
食品に対する脱気・加熱・高圧処理方法⑥	三輪 章志 有手 友嗣 南出 恵美 外 4 名	平 28. 10. 24 特願 2015-213699 (令 3. 7. 5 分割 特願 2021-111234)	令 5. 1. 12 特許第 7209309 号
食品に対する脱気・加熱・高圧処理方法⑦	三輪 章志 有手 友嗣 南出 恵美 外 4 名	平 28. 10. 24 特願 2015-213699 (令 4. 10. 5 分割 特願 2022-160994)	令 6. 2. 28 特許第 7445100 号
食品に対する脱気・加熱・高圧処理方法⑧	三輪 章志 有手 友嗣 南出 恵美 外 4 名	平 28. 10. 24 特願 2015-213699 (令 5. 10. 12 分割 特願 2023-176362)	令 7. 4. 1 特許第 7659242 号
多管型ヒートパイプ	村濱 稔 奥谷内 文子 加藤 亜矢子 外 3 名	令 4. 3. 10 特願 2022-37328	(令 5. 9. 22 出願公表 特開 2023-132158)

注) R8. 3. 31 時点で登録されているものまたは公開されているものを掲載。

イ 実用新案
なし

(2) 品種の登録及び出願

農林水産物の名称	品種の名称	育 成 者	出願年月日	登録年月日及び 登録番号
かぶ	加賀姫青	吉秋 斎 外 2 名	平 14. 4. 4	平成 17. 6. 22 第 13199 号
りんご	秋星	津川 久孝 外 3 名	平 15. 2. 17	平成 17. 9. 13 第 13306 号
ぶどう	ルビーロマン	嶋 雅康 外 4 名	平 17. 3. 4	平成 19. 3. 15 第 15020 号
だいこん	長根系源助	福岡 信之 外 3 名	平 18. 10. 18	平成 21. 3. 2 第 17679 号
フリージア	石川 f 1 号	井須 博史 外 4 名	平 19. 3. 9	平成 21. 3. 19 第 18016 号
稲	石川酒 52 号	武田 康一 外 11 名	平 19. 12. 25	平成 22. 8. 13 第 19695 号

農林水産物の名称	品種の名称	育成者	出願年月日	登録年月日及び 登録番号
フリージア	石川 f2 号	村濱 稔 外 2 名	平 23. 6. 29	平成 25. 12. 16 第 22875 号
フリージア	石川 f3 号	村濱 稔 外 2 名	平 23. 6. 29	平成 25. 12. 16 第 22876 号
フリージア	石川 f4 号	村濱 稔 外 2 名	平 23. 6. 29	平成 25. 12. 16 第 22877 号
フリージア	石川 f5 号	村濱 稔 外 2 名	平 23. 6. 29	平成 25. 12. 16 第 22878 号
フリージア	石川 f6 号	村濱 稔 外 2 名	平 23. 6. 29	平成 25. 12. 16 第 22879 号
フリージア	石川 f7 号	村濱 稔 外 2 名	平 23. 6. 29	平成 25. 12. 16 第 22880 号
日本なし	石川 n1 号	村濱 稔 外 3 名	平 26. 2. 14	平成 28. 7. 5 第 25266 号
稲	石川 65 号	中村啓二 外 10 名	平 28. 3. 12	平成 29. 8. 14 第 26196 号
フリージア	石川 f8 号	村濱 稔 外 3 名	平 28. 7. 15	令和 2. 1. 28 第 27751 号
フリージア	石川 f9 号	村濱 稔 外 3 名	平 28. 7. 15	令和 2. 1. 28 第 27752 号
フリージア	石川 f10 号	村濱 稔 外 1 名	平 28. 7. 15	令和 2. 1. 28 第 27753 号
稲	石川酒 68 号	中村啓二 外 11 名	平 29. 3. 8	令和 2. 6. 15 第 27980 号
フリージア	石川 f11 号	浅野彩花 外 2 名	令元. 6. 28	令和 4. 3. 15 第 29025 号
フリージア	石川 f12 号	村濱 稔 他 6 名	令 5. 8. 23	(令和 5. 11. 15 出願公表 第 36983 号)
フリージア	石川 f13 号	村濱 稔 他 3 名	令 5. 8. 23	(令和 5. 11. 15 出願公表 第 36984 号)

注) R8. 3. 31 時点で登録されているものまたは出願公表されているものを掲載。

3 広報

(1) 令和7年度業績刊行物一覧

刊 行 番 号	刊 行 資 料 名	部 数
—	水稲（中山間地域）における高精度可変施肥技術等を核とした超省力的・低コスト生産体系の導入による労働生産性の向上および能登農業の創造的復興に関する研究	600部

(2) 新聞・TV等による広報

広報内容	担当T	媒体	日付	備 考
ルビーロマンのプロモーション	園芸研究部・果樹T	石川テレビ	8/13	
加賀しずくのプロモーション	園芸研究部	北陸朝日放送	8/23	
加賀しずくのプロモーション	園芸研究部	テレビ金沢	8/28	

令和 7 年度石川県農林総合研究センター農業試験場研究年報

編集・発行 石川県農林総合研究センター
〒920-3198 石川県金沢市才田町戊 295-1
電話：076-257-6911 F a x：076-257-6844
(農業試験場企画調整室)
